



叡智の集結で次時代への革新を生む

INNOVATION TO THE NEXT ERA

東レ合織クラスタの活動が今年で13年目を迎える。産地の糸加工・紡績、織物、編物、染色加工、縫製の各会員企業が連携することで、国内繊維産業の活性化と国際競争力強化を目的として2004年に発足した。2015年度は、「グローバルな活動の強化」、「連携の多様化」、「用途展開の進化・深化」に重点を置いて活動を行った。産地企業の優れた技術開発力を活かし国内繊維産業の復権を目指し、更なる活動強化に努める。

東レ合織クラスタ <http://www.gosen-cluster.com/>

TOP COMMENTS



ブランドイメージと価値を引き上げる インフラ活用し新ビジネス作成へ

東レ合織クラスタ 宮本 徹 会長

私が会長になった時に、グローバル活動の強化と垂直、水平を含めたクラスタの連携の多様化、用途展開の進化と深化の3つの方針を掲げましたが、引き続きこれを進めていきます。

グローバル化では、クラスタとしてイタリアのミラノウニカに出展を始めて3年目になります。過去2年とも高い評価を得て、出展者も広がりを見せています。実際のビジネスに繋げるのはこれからですが、ぜひ成果に結び付けたいと思っています。

用途展開の多様化は、非衣料分野での技術、商品開発、販売が課題です。昨年、技術系の分科会を「高機能・高感性テキスタイル」、「高性能繊維」、「グリーンイノベーション素材」、「ライフイノベーション素材」、「エンドプロダクト」の5分科会に再編しました。短期テーマと中長期課題に分けて、短期のテーマはマーケティング推進部会と連動しながら活動を進めています。新しい素材、技術を垂直連携の中で、出口に繋ぐことが大事です。

もう一つ、重視しているのが人づくりです。人材育成部会がこの機能を担い、今後

一段と力を入れたい活動です。個々の企業の高い技術力にさらに磨きをかける。企業ごとでは限界もありますが、これをクラスタの連携で取り組むことで、人と人の繋がりが広がり、新しいビジネスが生まれてくることとなります。

人材育成部会では、生産リーダーや生産管理者の育成が人気です。どこでもあると思っていましたが、他社の経験も学ぶこと、実際の現場研修も取り入れたことなどで、より実践的なものになっているからでしょう。マーケティングのリーダー育成も始まりました。トップ同士の繋がりがだけでなく、生産現場、技術者、若手社員間など重層的な繋がりが、連携ができてきました。この中で、リーダーとなるような人材を育てていくことが大切です。

賛助会員も広がり、機械や薬剤メーカーとの連携もできるようになりました。これは双方にとって非常に大きな意味があると思っています。

東レ合織クラスタはこういったインフラを参加企業に提供しています。参加企業はこのインフラをうまく利用することで新しいビジネスを作って欲しい。クラスタの出荷額は昨年100億円を超え、15年度も成長を続けています。数字で結果を出すことは大事ですが、先に数字ありきではなく、参加企業の様々な連携の結果として数字が伸びていくことが大切です。

そして、東レ合織クラスタのブランドイメージ、ブランド価値をもっともっと引き上げていければと願っています。

ACTIVITY



ミラノウニカ展 出展を継続

メイド・イン・ジャパンの高品質な素材を世界に発信し、海外での商流開拓を目指して、2015年度も継続して出展した。今年は、出展ブースを昨年比2倍の面積に増床した。ブースでは高度な技術力を活かして開発した、独特の質感と合織素材ならではの機能性を合わせ持つ高感性・高機能テキスタイルを提案した。丁寧なフォローとプレワークの結果、2016年2月の出展では、多くのリピーターと新規顧客により、過去最高の面談来場者数とピックアップ数となった。



人材育成セミナー内容を充実

産地企業の高度なものづくりにおいて、一層の生産性向上、技術継承によるノウハウの蓄積がますます必要となっている。東レ合織クラスタでは、3年前から産地のものづくりの底上げを目指し、研修やセミナーによる人材育成活動を本格的に開始した。産地企業のお客様であるアパレルメーカーからの様々なニーズに対応するため、産地企業の現場を支える人材育成に注力している。2016年度はさらに内容を充実させ、新規講座の開設も計画している。



麻調ポリエステル素材 パリネ® 拡大

麻調ポリエステル素材パリネ®の販売が拡大している。パリネ®は、天然の麻が持つ自然でナチュラルな表情と清涼感を、東レ合織クラスタの持つ繊維加工の「技」により作り上げたポリエステル素材である。麻素材が持つ質感に加え、ポリエステル素材の特長である皺になりにくいといったイージーケア性に優れている。近年の麻調のトレンドが追い風となり、昨年開催した第6回総合展でピックアップ数がナンバーワンになるなど、東レ合織クラスタを代表する素材の一つとなってきている。



広がる非衣料分野への展開

東レ合織クラスタの開発した素材が、非衣料分野へも拡大している。スポーツやファッション分野で培った高い繊維加工技術を炭素繊維に適用した「緯2色炭素繊維織物」や、高機能繊維にかさ高性と伸縮性を付与した加工糸など、非衣料分野における用途展開に注力している。また、防蚊加工など機能が多様化するカーテン素材や、災害時の効果が期待できる高視認ビブスやアラミド繊維使用の防護具といった最終商品など、多彩な用途への商品開発が活発化している。